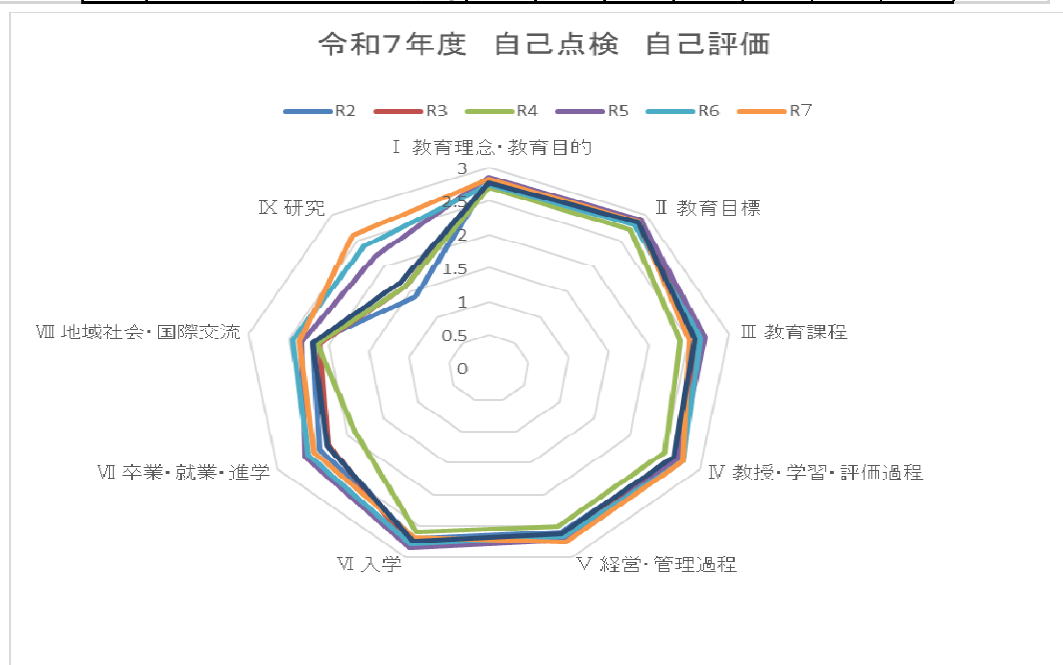


II 総合評価

令和7年度結果								
令和2年～ 令和7年度 鹿屋市立鹿屋看護専門学校自己点検自己評価結果								
表2								
	評価項目	R2	R3	R4	R5	R6	R7	平均値
I	教育理念・教育目的	2.8	2.7	2.7	2.9	2.7	2.8	2.8
II	教育目標	2.9	2.9	2.7	2.9	2.8	2.9	2.9
III	教育課程	2.6	2.6	2.4	2.7	2.6	2.7	2.6
IV	教授・学習・評価過程	2.7	2.7	2.5	2.7	2.8	2.8	2.6
V	経営・管理過程	2.6	2.7	2.5	2.7	2.7	2.8	2.6
VI	入学	2.7	2.8	2.6	2.8	2.8	2.7	2.7
VII	卒業・就業・進学	2.4	2.3	1.9	2.6	2.6	2.5	2.3
VIII	地域社会・国際交流	2.2	2.1	2.2	2.3	2.4	2.4	2.2
IX	研究	1.4	1.6	1.6	2.2	2.4	2.6	1.7
	平均	2.5	2.5	2.3	2.7	2.6	2.7	2.5



令和7年度の自己点検自己評価の総合的評価結果は、VI入学、VII卒業・就職・進学の2項目のみが低下したものの、他はすべて昨年と同じか上昇する結果となった。入学に関しては入学志願者の低下がこれらの評価に影響したと思われる。更に広報活動に力を入れ、鹿屋市や大隅管内の高校にも広く入学志願者の募集をしていきたい。また、社会人の入学志願者も広く募集し社会人が受験しやすい体制を整えるべく入学試験の在り方も引き続き検討を重ねる。VIIの卒業・就業・進学に関する項目では、鹿屋市内に就職予定であった学生が卒業と同時に鹿屋市外へ流出したこともあり、このポイントが下がったと考察する。アドミッションポリシーをしっかりと明示し入学者選抜のあり方や入学後の指導など再度検討を重ねていくこととする。点数が上がった項目については引き続き継続できるように、前年度との差がなかった項目については上がるようにする。今年度は理想である9角形を呈しており、偏りのない教育水準が維持、向上していると考察する。引き続き課題を改善しながら研鑽し教育の維持・向上に努めていく必要がある。

